

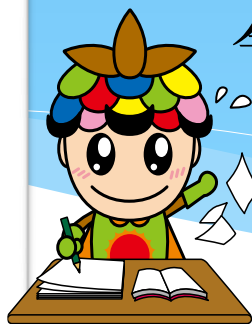
令和3年度 埼玉県教育委員会委嘱「彩の国の道徳」推進事業 道徳教育研究推進モデル校

## 令和3年度 東部地区道徳教育研究協議会

自他を大切にし、よりよく生きようとする児童の育成  
～「考えを深める道徳科」の指導法の  
工夫、改善を中心として～



加須市立志多見小学校  
令和3年11月12日(金)



# 学校教育目標

よく考える子

思いやりのある子

ねばり強く元気な子

# 課題

- 自己肯定感の低さ
- 規範意識の低下
- 自主性の低さ

# 研究主題

自他を大切にし、よりよく  
生きようとする児童の育成

～「考えを深める道徳科」の指導法の  
工夫、改善を中心として～

# 1 研究の概要

## 仮説1

児童が問題意識をもち、主体的に道徳的価値について語り合う道徳科の授業を展開すれば、自他を大切にし、よりよく生きようとする児童を育成できるであろう。

# 1 研究の概要

## 仮説 2

道徳科と全教育活動との関連や、家庭・地域との連携を生かした道徳教育を推進し、豊かな体験活動を充実すれば、自他を大切にし、よりよく生きようとする児童を育成できるであろう。

# 1 研究の概要

## 組織図

校長

研究推進委員会

### 校内授業研究部

- 道徳科の授業実践
- 評価の実践
- アンケート調査

### 環境整備部

- 学校だより(道徳コーナー)
- 掲示物の作成
- 教材整備
- 教育活動の充実

## 2 研究の実践～授業研究部～

- ①物事を多面的・多角的に考えることができる**発問**の工夫
- ②物事を多面的・多角的に考えることができる**話合い**の工夫
- ③**自己を見つめる振り返り**の工夫
- ④**小・中一貫教育事業**  
小・中ともに道德教育を推進する学びの協働体として
- ⑤**評価**を生かした授業改善



## 2 研究の実践～授業研究部～

## 学習指導過程 「志多見小スタンダード」の改善

導入 動機付けを図る段階

気づく

展開 自己を見つめる段階

とらえる



ふかめる

みつめる

終末 今後の発展につなぐ段階

あたためる

### 志多見小 スタンダード

導 入	<p>気づく</p> <p>主題に対する児童の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の自覚に向けて動機付けを図る段階</p> <p>○問題意識を高める導入の工夫 ・生活体験を想起・事前アンケートの結果・資料に関する絵画や写真の提示など ・紙芝居・VTR・音楽を聴く・ねらいにかかわる新聞記事、児童作文、詩や短歌など</p> <p>課題 ○○について考えよう。○○とは何だろう。等</p>	
展 開	<p>とらえる</p> <p>主題のねらいを達成するための中心となる段階であり、中心的な教材によって児童一人一人がねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる段階</p> <p>○教材提示の工夫 ・紙芝居・影絵・人形やペープサート・劇・ビデオなどの映像による提示など</p> <p>ふ</p> <p>○発問の工夫 中心的な発問を考える。(授業のねらいに強くかかわる発問) 主として多面的思考</p> <p>主人公の心情や考えを明らかにする</p> <p>主人公に自分を重ねる</p> <p>～はどんな気持ちだろう</p> <p>～は何だろうなぜだろう</p> <p>主人公を客観的に見る</p> <p>自分ならどうするか</p> <p>～についてどう考えるか</p> <p>自分自身の気持ちや考えをもち、意識する</p> <p>主として多角的思考</p> <p>○話し合いの工夫 (ペア→トリオ→グループ→全体) ・討論形式等の学習形態の工夫・心の可視化 (ハートメーター・スケール等)・座席配置の工夫 ○動作化、役割演技など表現活動の工夫 ・ペープサートやお面、小道具などの活用 ○板書を生かす工夫 ・教師の明確な意図が伝わる対比的・構造的な板書 (イメージマップによる思考整理・色チョークの効果的な活用・劇の舞台のような板書等) ○書く活動の工夫 ・道徳ノートやワークシート等の活用</p>	<p>児童の発言・記述等を言語分析し、評価につなげる。</p>
見 つ め る	<p>ねらいとする道徳的価値を視点に自己の生き方を振り返る段階</p> <p>・自己の生き方を振り返り、自分の考えを深める。</p>	
終 末	<p>あたためる</p> <p>ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、温めたりして、今後の発展につなぐ段階</p> <p>○説話や動作化などを取り入れ、実感意欲を高める工夫 ・教師の体験や類い・児童の日常生活における身近な話題・動作化など ・ことわざや格言、詩や絵本など・「私たちの道徳」「彩の国の道徳」の活用</p>	

# ①物事を多面的・多角的に考えることができる**発問**の工夫

## 校内研修 浅見調査官による御指導



× 価値観の押し付けではなく

◎ 教師の明確な指導観を  
大切にした授業

# ①物事を多面的・多角的に考えることができる**発問**の工夫

中心的な発問を考える。(授業のねらいに強くかかわる発問)

主として多面的思考

主人公の心情や考えを明らかにする

～はどんな気持ちだろう  
～は、この時どんなことを考  
えているのだろう

主人公に  
自分を重ねる

自分ならどうする

～は何だろう  
なぜだろう

浅見調査官の  
御指導

主人公を  
客観的に見  
る

～について  
どう考えるか

自分自身の気持ちや考えを  
もち、意識する

主として多角的思考



# ①物事を多面的・多角的に考えることができる**発問**の工夫

## 道徳性を構成する諸様相に焦点を当てた発問

- ・道徳的判断力に関わる発問で理由や考えを問う。  
「どんなことを考えたのでしょうか。」  
「どうしてそのようなことをしたのでしょうか。」
- ・道徳的心情に関わる発問で気持ちを問う。  
「どんな気持ちでしょうか。」
- ・道徳的実践意欲と態度に関わる発問で行為の根拠となる心に目を向けたり、具体的な行為をイメージできるようにする  
「どんなことを心がけていきたいと思えますか。」  
「どんな気持ちや考えがあるのですか。」  
「それは、どんな場面が考えられますか。」



児童が考えたくなる必然性・切実感のある発問が効果的な発問



浅見調査官の  
御指導



## ②物事を多面的・多角的に考えることができる**話し合い**の工夫

教師側

話し合う内容の明確化

話し合いを活性化する教師の役割

温かい人間関係作りを  
基盤に

児童側

どうとく じかん あいことば  
道徳の時間の合言葉

**しだみん**

**し**やべりたい

じぶん かんがえ  
自分の考えを すなおに  
はなそう。

**だ**れとでも

じぶん かんがえ  
自分の考えを みんなに  
はなそう。

**みん**な なかよく

かんがえ  
みんなの考えを  
しっかりきこう。

**耳・目・心** で  
自分の考えを広げよう

気づく

とらえる

ふかめる



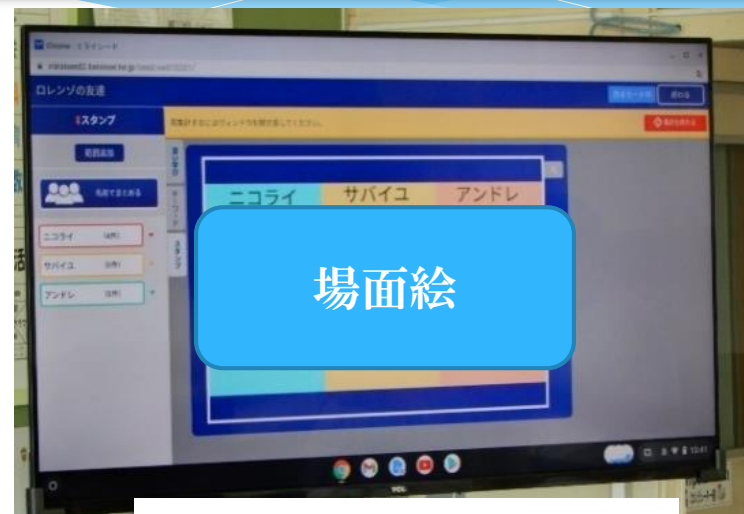
見つめる

あたためる

## ②物事を多面的・多角的に考えることができる**話し合い**の工夫 ～学習形態の工夫～



## ②物事を多面的・多角的に考えることができる**話し合い**の工夫 ～**役割演技**・ICTの活用の工夫～

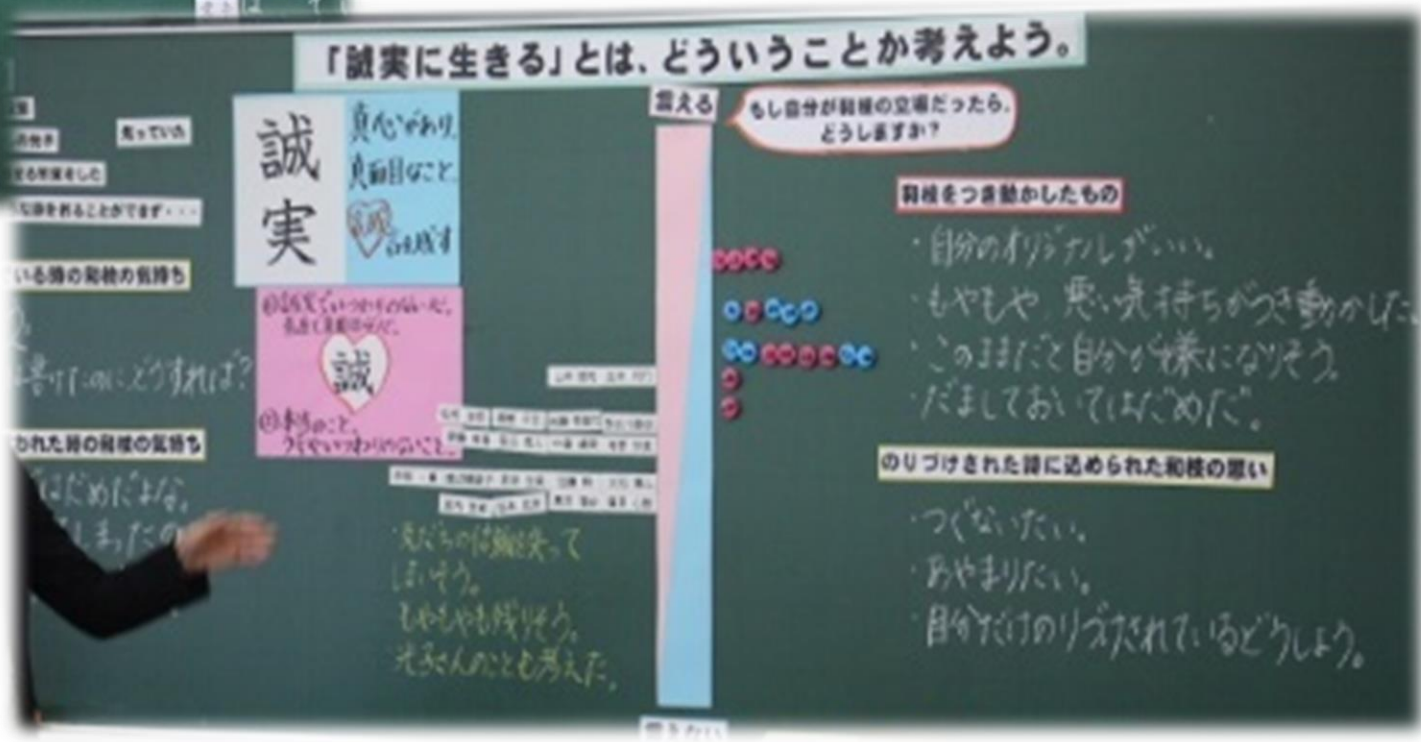




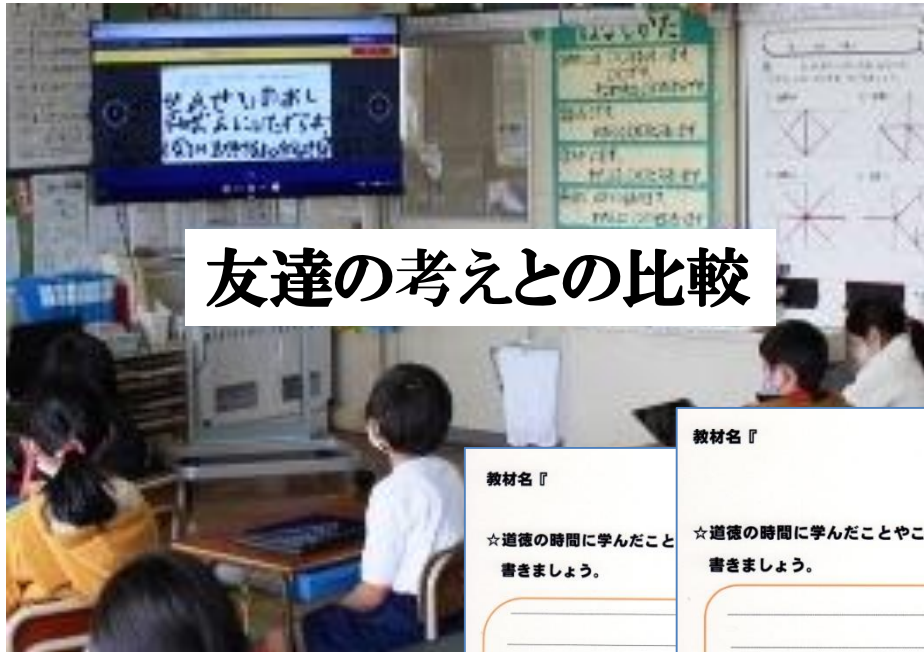
## ②物事を多面的・多角的に考えることができる**話し合い**の工夫 ～**板書の工夫**～

思考の視覚化

発問の視覚化



### ③ 自己を見つめる振り返りの工夫 ～書く活動の工夫～



友達の考えとの比較

## これまでの自分との比較

教材名『ひきかえるとろば』 名前( )

☆小さな命を大切にするために、どのようなことを心がけていますか。

教材名『絵葉書と切手』 名前( )

☆あなたが、ひろ子ならどうしますか。

言う 心のスケール・理由

理由

☆『本当の友だち』になるために心しましょう。

どのようなことを心がけたいか。

◎とてもよい ○よい △もう少し

自分の考えを発表することができましたか。

小さな命について考えることができましたか。

自分ならどうするか考えられましたか。

友だちの考えでいいなと思った意見がありましたか。

だれの( )さん

◎とてもよい

自分の考えを発表することができましたか。

( )について

自分の体験と結びつけて

学習を通して学んだことは何か

自分の考えを発表することができましたか。

( )について

友だちの考えでいいなと思った意見がありましたか。

だれの( )さん

自分の体験とむすびつけて

友だちの考えでいいなと思った意見がありましたか。

だれの( )さん

## 自己の生き方の考えを深める

# ④小・中一貫教育事業

## 小・中ともに道徳教育を推進する学びの協働体として

### 小・中合同研修会



浅見調査官の御指導

### 教材吟味表

主題名	みんなのことを考えて	教材名	黄色いベンチ	
【スタートの条件・状況】	やっと、走りついでいた街がやむ。たかしてつおは、朝から近くの公園へ結飛行機を飛ばしに行く。	【登場人物】	たかし・つお 女の子・おばあさん	
【読者につなげたい場面と気持ちの変化キーワードなど】		【読者の柱と予想される読者内容】	◎中心読者	
丘の上の黄色いベンチを見つめ、どろどろの靴でベンチに乗る。	「ひどいところじゃ、よく動けな いよ。」 「あの、ベンチの上から飛ばさそ う。」と つおが言う。  高いところから、結飛行機が まわると気持ち良くなり。  あちこちに水たまり。  おばあさんも、夢中で結飛行機 を飛ばす。	○「たかし」と「つお」の行動についてどう思 うか。 ・結飛行機の靴で、ベンチに乗って、いけないと 思う。 ・次に相手のことを考えていないと思う。 ・自分勝手に行動しているのは良くないと思う。 のなぜ、「たかし」と「つお」は、泥だらけの靴で ベンチの上に乗って結飛行機を飛ばしてしまっ たのでしょう。 ・結飛行機をもちと遠くまで飛ばしたいから。 ・結飛行機に、夢中になって、次に使う人のこと を考えられなくなる。  ◎おばあさんとして、顔を見合わせた「たかし」と「つ お」はどんなことを考えているのでしょう。 ・公園のベンチに泥のついた靴で上がってしまっ て悪かったな。 ・女の子の影が泥だらけになってしまって、涙を かかけてしまった。 ・おばあさんがおばあさんに言う。 ・おばあさんに聞いてある物は、みんなの物だ。みんな も考えて大切に使う。 ・スカートの泥を落としながら、おばあさん は、どんなことを考えていたのでしょう。 ・スカートがよごれてしまっただけであら。		
ブランコに立ったま ま土足で走り、休む。				
ちかちかの子 とおばあさんがやって くる。	ベンチに座り、おばあさんをお 「こんな泥だらけのベンチに乗っ て、スカートが泥だらけです よ。」とおばあさん。			
顔を見合わせた し」と「つお				

学びの連続性を意識して

内容項目 【C 規則の尊重】

低学年～約束・きまりを守る。みんなが使う物。  
中学年～約束・きまりの意義を理解。  
高学年～約束・きまりの意義を理解し、進んで守る。  
自治の権利、義務を果たす

中学校～道徳精神、公徳心  
規律ある安定した社会の実現  
【ねらい】

主人「たかし」と「つお」の気持ちの行動について話し合うことを通じて、みんなが使う物は、自分以外  
にも使われる人がいることに気づき、自分勝手にいいことをすることなく、みんなのことを考えて大切に使う  
よとすすむ態度を育てる。

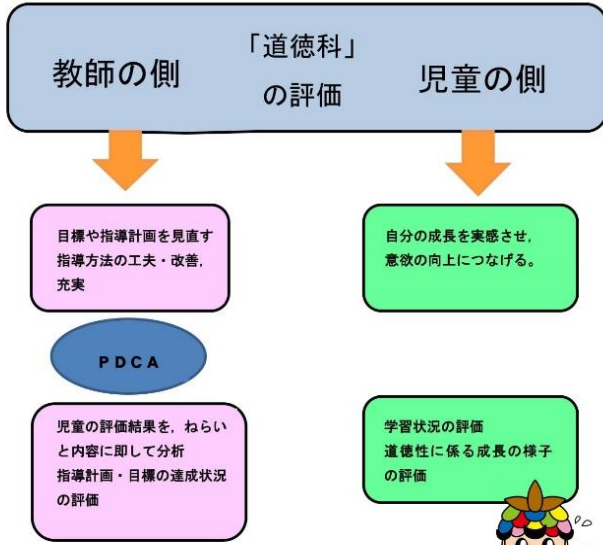
指導評価資料 P22

A B C

教材吟味表の共有化

# ⑤ 評価を生かした授業改善

道徳科における評価



教材名『ひきかえのつとめ』

名前( )

☆小さな命を大切にするために、どのようなことを心が  
か。

自分のいかに虫や、自分じゃない  
生き物でも命があるからね  
か、かわい生き物だけじゃなく  
どんな生き物でも、さべつしな  
やさしくしたい  
す。自分のいかに  
人間と同じ命がある

自分の生活経験におきかえて  
道徳的価値を  
考えることがで  
きた記述

## 言語分析すると...

### 発言分析シート

教材名: 1年「ともくんの  
中心発問: 「先生にあと  
だれの( )さん  
どんな「みんな命があるという意見が  
いいと思いました。」

	発言例	児童名
自律	・あきらめないで繰り返し書いたら字が上手になるから、がんばって書こう。	児童 A・B・C...等 多数
社会律	<h2>発言分析シート</h2>	
他律		

考察: 自律の視点「あきらめないでがんばろう。」の意見が多かったが、児童の本音が十分引き出せていないと思った。

改善策: 中心発問の前の発問「大急ぎで書き上げて先生に作品を見せに行くとくんは、どんな気持ちだったか。」の主人公の弱さに十分共感させる。中心発問で、主人公の気持ちを再度提示し、更に「自分がともくんだったらどうかな。」と問い返し、自分事として道徳的価値を考えさせる。

指導評価資料 P238を参考にしてください。

### ～語り合いのある授業を目指して～ 発問力診断シート

教材名: 年「 」 内容項目「 」

	大変良い	良い	普通
① 本質的な問いになっているか。 自分の言葉			
② 深く考える問いになっているか。 うーん・わかった!			
③ <h2>発問力診断シート</h2>			
④ 問いが問いを生んでいるか。 問い返し			
⑤ 問いが継続しているか。 先生あのね			

# ⑤ 評価を生かした授業改善

## 6年「ロレンゾの友達」の例

志多見小 プログラム: 友だちプロジェクト

ユニット名

「友達とのきずなを深めよう」

教材名: ロレンゾの友達  
内容項目: 友情・信頼  
時期: 6月

教材名: ひととひと  
内容項目: 友情・信頼  
時期: 10月

行事名: 運動会  
内容項目: 友情・信頼  
時期: 10月



行事  
内容  
時期

目指す児童像

高学年

内容項目 C 友情、信頼

主題名	真の友情	ねらい	罪を犯したかもしれないかについて自し、相手の思い、との大切さに気づけるながら友情を深め
教材名	ロレンゾの友達		

活動内容

導入	1 本時の学習課題を知る。 事前アンケートを掲示し、友達についてどんな思いをもっているかを共有し、ねらいとする道徳的価値について課題をもたせる。 「本当の友達」とは、どんな友達だろう。	
展開	2 教材「ロレンゾの友達」について知る。 3 教材「ロレンゾの友達」の前半 P66～68 を開き3人の友達の心情について話し合う。 (1) あなたがロレンゾの友達だったらどう様するか。 教材の後半 P70～71 を開く。 (2) 3人は、なぜ、檻の木の下ので話し合ったことをロレンゾに言わなかったのか。 (補助発問) もしも、話し合ったことを伝えたら、ロレンゾはどう思うか。 (3) 本当の友達とは、どんな友達だろう。 4 今日の学習をもとに、課題について自分自身を振り返る。 ・友達について自分が大切にしていきたいこととはどんなことか。	ポイント 場を明確に 合うこと 的、多 る。
閉	5 「ともだち」に関する詩を読む。 3人の登場人物の心の動きが分かる視覚に動きかける構造的な板書	
指導・講評	東部教育事務所教育支援担当社会教育主事兼指導主事 鈴木 由 加須市教育委員会学校教育課学校教育課 ○友達に関するアンケート結果を活用することにより、ねらいとする道徳的 いた。自己を振り返る場面では、アンケートを再度活用し、生活経験を が更に深まるのではないかと。 ○3人の登場人物の立場を明確にした ICT の活用や、児童の思考を可視 化し、	

改善案: 第6学年1組 道徳科学習指導案

- 1 主題名 真の友情 内容項目 B 友情、信頼
- 2 ねらい 罪を犯したかもしれない友達に対してどう接するかについて自我問とさせて考えることを通して、相手の思い、友達のことを真剣に考えることの大切さに気づき、互いに信頼し、高め合いながら友情を深めていくとする態度を養う。

教材名 「ロレンゾの友達」(出典:「新・みんなの道徳6年」学研教育みらい)

- 3 人権感覚育成の視点 他者の立場や思いに興味・関心をよせ、仲間同士として共通の目的をめざして努力しようとする。(共感と連帯感)

4 学習指導過程

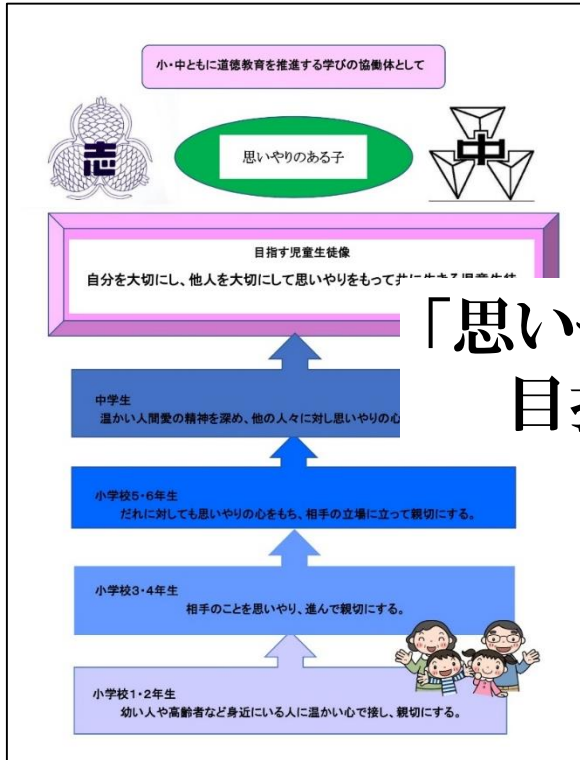
段階	学習活動 (主な発問)	予想される児童の反応	指導上の留意点 ◆人権感覚育成の視点	時間 (分)
導入	1 本時の学習課題を知る。 「本当の友達」とは、どんな友達だろう。		・事前アンケートを掲示し、友達についてどんな思いをもっているかを共有する。ねらいとする道徳的価値について課題をもたせる。	5
展開	2 教材「ロレンゾの友達」について聞き3人の友達の心情について話し合う。 登場人物: ロレンゾ、アンドレ、サブパイコ、ニコライ 条件・状況: 警察がロレンゾを追っている噂を聞き、3人はロレンゾが会いに来たらどうすればよいか迷う。 【前半】P66～69 (1) あなたがロレンゾの友達だったらどう様するか。 改善②: 問い返し ・夜も眠れないほど、3人が悩んでいたのは、なぜか。 【後半】P70～71 (2) 3人は、なぜ、檻の木の下ので話し合ったことをロレンゾに言わなかったのか。 改善③: 問い返し ・「本当の友達」として3人に足りなかったものは何か。		・ロレンゾと3人の友達は、古くからの友達で、親友であることを押さえる。 ・教材を前半と後半に分けて読み聞かせをする。 ・自分の考えが誰に近いか、根拠をもって考えさせる。 (ポイント集計・ワークシートの活用) 改善④: ペアで意見交換を行った後、全体で3人の考えについて比較検討する。 学習形態の例 ・隣同士・立場が同じ・立場が違う ・3人の意見は違っても、友達を思う気持ちは共通であることを押さえる。 ◆他者の立場や思いに興味・関心をよせ、仲間同士として共通の目的をめざして努力しようとする。(共感と連帯感) ・ロレンゾを信じられなかったことを後悔している。 ・疑ってしまったことをロレンゾが知ったら、悲しむから。 ・どんな時も信じる気持ち、何でも言い合えること 改善⑤: アンケートの活用 「友達なら何でも言い合える」を活用し、3人の親友として足りなかったことを考える手がかりとする。	5  15
閉	3 今日の学習をもとに、課題について振り返る。 ・友達について自分が大切にしていきたいことはどんなことか。		・友達を信じる気持ち、相手の事を真剣に考える、相手を信頼して何でも言い合えるようにしたい。 改善⑥: アンケートの活用 授業後の変更を可視化する。	10
終末	4 「ともだち」に関する詩を読む。		・「本当の友達」とはどのような友達かを考え、自分が大切にしたい友情について考えを深めさせる。 改善⑦: アンケートの活用 授業後の変更を可視化する。	7
終末	4 「ともだち」に関する詩を読む。		・事前アンケートにはない、新たな気づきがあれば、全体に広げる。 ・「ともだち」の詩を聞き、余韻をもって終わらせる。	3

発問・話し合いの工夫の観点で見直すと...

## 2 研究の実践～環境整備部～

- ①他の教育活動との繋がり  
「思いやりプロジェクト」の作成
- ②家庭・地域との連携
- ③道徳的な環境整備
- ④チームで行う評価

# ①他の教育活動との繋がり 「思いやりプロジェクト」の作成



## 「思いやりのある子」 目指す児童像の共有化

志多見小 プログラム：思いやりプロジェクト・1年

ユニット名

「こころをつなごう」

教科名：生活科「一年生と仲よくする会」  
内容項目：友情・信頼  
時期：5月

行事名：運動会  
内容項目：友情・信頼  
時期：9月



教材名：くりのみ  
内容項目：友情・信頼  
時期：11月

教材名：ぼっかりぼか  
内容項目：礼儀  
時期：11月

目指す児童像

身近にいる人や幼い人、高齢者に温かい心で接し、親切にできる児童

学年	月	生活	音楽	図工	月
		じふんでできるよ	4		
					こころのほなまき かせよう
		さん(1)(2) さん(1)(2)	3		どろみとなみよく なろう
		もうすぐさんせい い入るの身ま まのまじ	1 3		
		もうすぐさんせい い	1 3		6年生にプレゼン トをつくらう

領域・領域	学習の目標	学習の目標	学習の目標	学習の目標	学習の目標
C-1(10) 規則の尊重	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	権利と責任	1 1	基本的な生活の仕方 の関わり方	4 10
C-1(11) 公正・公平・平等の尊重	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	公正・公平・平等	9 9		
C-1(12) 家族・市民の権利	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	参加・参加	5 5	議論の仕方	3
C-1(13) 家族愛・家庭愛の尊重	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	自己尊重の感情	12		
C-1(14) 伝統文化の尊重	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	参加・参加	9	運動会 行事の準備	4
C-1(15) 自然環境の尊重	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	参加・参加	10		
C-1(16) 国際理解・国際協力	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	多様な文化の理解	10		
D-1(17) 生命の尊重	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	生命の尊重	4 1	災害時の避難訓練	7 11
D-1(18) 自然環境の尊重	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	生命の尊重	9		
D-1(19) 感動・畏敬の念	1. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。 2. 自分や他人の権利や責任を尊重すること。	生命の尊重	12		

# 別葉

領域・領域	学習の目標	学習の目標	学習の目標	学習の目標	学習の目標
全内容項目	[成長したところをさがそう] 1年層をふり返ろう				

# ①他の教育活動との繋がり 「思いやりプロジェクト」の作成

志多見小 プログラム: 思いやりプロジェクト・1年

ユニット名

「こころをつなごう」

教科名: 生活科「一年生と仲よくする会」  
内容項目: 友情・信頼  
時期: 5月

教材名: はしの上のおおかみ  
内容項目: 親切・思いやり  
時期: 12月

行事名: 運動会  
内容項目: 友情・信頼  
時期: 9月



教材名: くりのみ  
内容項目: 友情・信頼  
時期: 11月

教材名: ぼっかぼか  
内容項目: 礼儀  
時期: 11月

目指す児童像  
身近にいる人や幼い人、高齢者に温かい心で接し、親切にできる児童



1年生を迎える会



運動会

実践化につなげるために



## ② 家庭・地域との連携

道徳通信  
**しだみん**

新潟県立志多見小学校  
令和3年度  
4月9日(金)発行

♥道徳通信「しだみん」を発行します。♥  
やわらかな自然が教室に染み込み、子ども達を優しく包んでくれます。そして、子ども達も大人も新鮮な気持ちになる4月。新1年生19名を迎え、全校児童113名で元気いっぱい、令和3年度がスタートしました。さて、今年度も志多見小学校は、道徳教育に力を入れていくことになりました。本校の子ども達の様子や道徳教育について情報発信できるように「道徳通信しだみん」を発行していきます。保護者・地域の皆様の親友役・親睦力をよりしくお願いします。

♥道徳の時間に学ぶこと♥

- ① 自分自身に関すること (基本的な生活習慣など)
- ② 他の人とのかかわりに関すること (礼儀・挨拶・友達など)
- ③ 自然や崇高なもののかかわりに関すること (生命尊重など)
- ④ 集団や社会とのかかわりに関すること (勤労・株上愛など)

豊かな心の育成

## 道徳だより

♥昨年度の研究授業の様子♥

【学年】：本時の学習テーマ「まじりを守る事」について、タブレットを活用して考えました。

みんなのものを 使うときに大切なことは、なんだろう。

みんなのものは、順番を守って仲良く使いたいね。

**し**

「しゃべりたい・聴きたい」  
主体的・対話的で 深い学びのある授業

**だ**

「だれとでも仲よく」  
「公正・公平」  
人権教育の視点

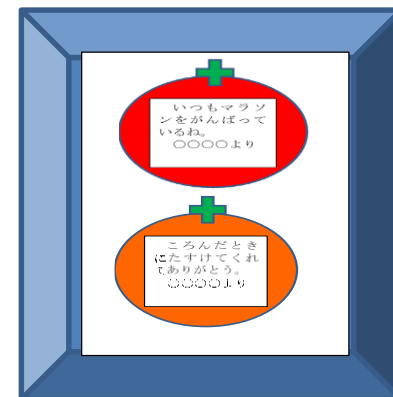
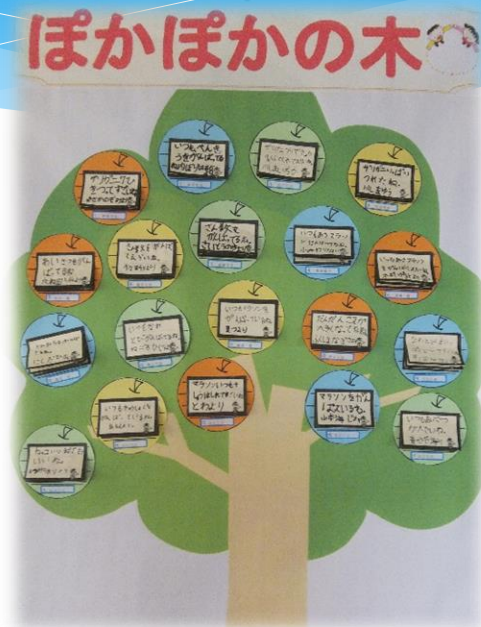
**みん**

「みんなと仲よく」  
「思いやりのある子」  
学校教育目標の具現化をめざして

どうとく  
**道徳ノート**

しゃべりたい  
だれとでも  
みんな仲良く道徳授業

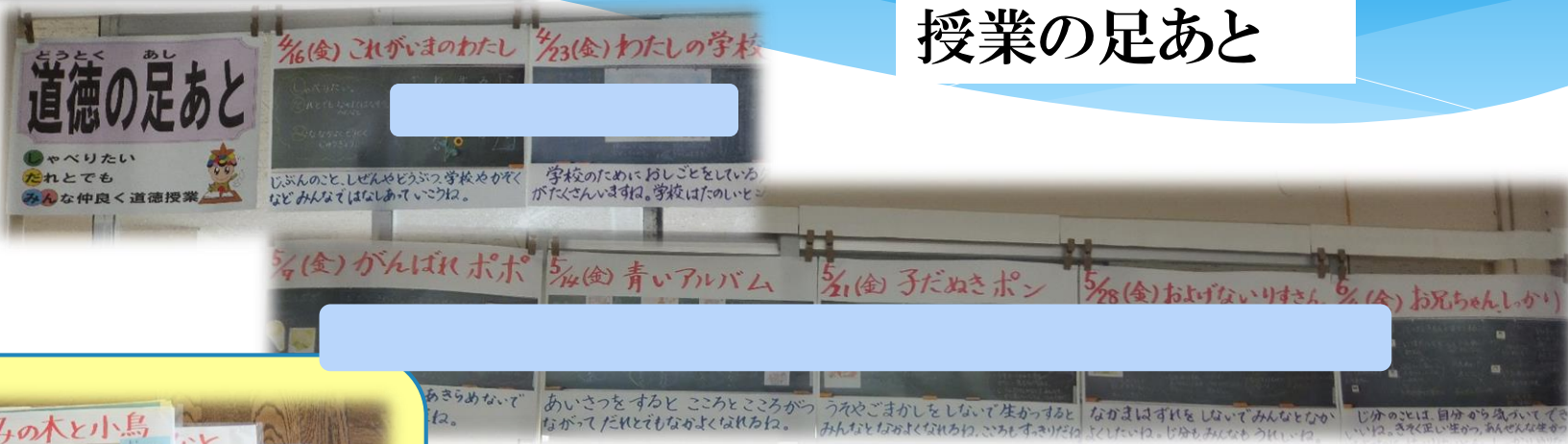
なかよ どうとくしゃぎょう



## ぽかぽかの実

### ③道徳的な環境整備

## 授業の足あと



## 道徳コーナー



教材コーナー

どうとく じかん あいことば  
道徳の時間の合言葉

**しだみん**

しゃべりたい  
自分の考えを すなおに  
はなそう。

だれとでも  
自分の考えを みんなに  
はなそう。

みんな なかよく  
みんなの考えを  
しっかりきこう。

耳・目・心 で  
自分の考えを広げよう

気づく  
とらえる  
ふかめる  
見つめる  
あたためる



## 今後の取組

- 「志多見小スタンダード」の改善と多様な指導法の工夫
- 家庭・地域の道德教育に対する啓発活動の充実
  - 「思いやりの心を育む」家庭教育学級
  - 「命の大切さ」を考える授業

ご清聴ありがとうございました。

